

郷づくり基本構想の見直しについて

(1) 福津市のまちづくり計画

市では「みんなですすめるまちづくり基本条例」の理念をもとに、持続可能なまちづくりをすすめるため「まちづくり計画」を策定している。

行政計画

まちづくり基本構想

市の最上位計画。将来像と、その実現に向けたテーマ別目標像や取組み方針を示している。

目標像の1つに「地域自治の実現」が掲げられ、郷づくりを推進していくことを明記している。

郷づくり基本構想

地域住民が主体となった持続性のある郷づくりを目指して、基本的な方針や取組み施策をまとめた分野別計画

市民計画

郷づくり計画

8つの郷づくり地域ごとに、地域の実情にあわせて取り組む施策をまとめた、郷づくりの行動計画

(2) 郷づくりの位置づけ

根拠: 福津市みんなですすめるまちづくり基本条例第11条、郷づくり基本構想 P5・13~14

まちづくり 福津市を住みよいまちにしていくためのあらゆる活動や事業
(例) 道路や河川など都市基盤の整備、地域での防犯活動・福祉活動などの安全
安心な生活環境づくり

地域づくり 市民、事業者等及び市がお互い助け合い、支え合いながら地域を守り育てること

郷づくり 地域づくりのうち、地域住民が主体となって取り組む活動。郷づくり推進協議会が活動の中心である。

(3)経緯

H30年3月	郷づくり基本構想 制定
R4年6月3日	共働推進会議に諮問「郷づくり基本構想見直しの必要性について」
R6年3月22日	共働推進会議 答申「基本構想の見直しが必要」 ・問題点と、解決に向けた方策案を提示する ・方策案を着実に実行するため「実行プランの策定」を求める
R6年6月24日	庁議決定 ・基本構想を見直す ・基本構想の具体的な取組みとして、実行プランを策定し、市の支援策に位置づける
R6年8月19日	実行プラン 庁議決定

(4)主な検証内容

- ・郷づくりの取組み成果
- ・郷づくりを取り巻く課題
- ・「将来像を実現するために取り組む施策」の取組み状況
- ・福津市共働推進会議からの答申



- ・郷づくりの将来像実現に向けて多くの取組み成果はある一方で、郷づくりを取り巻く課題は大きくは改善していない。
- ・共働推進会議の答申を通して、郷づくりを進める上での問題点と、市が改善すべき方向性が明らかになった。

(5)見直しの方向性

郷づくり制度そのものの方針は変えず、「市の支援策」を中心に見直す。

【主な変更点】

- ①計画期間 延長(案P1)
まちづくり基本構想の計画期間の翌年「2031年」までとする
- ②郷づくりの成果 追加(案P6～8)
- ③郷づくりの評価 更新(案P9～13)
- ④市の支援策 見直し(案P20～32)
実行プランの内容を盛り込む